



INSTRUCTIONS (取扱要領書)

-J06239

2017-01-02

ハーレーダビッドソン製アナログ式タイヤ空気圧ゲージおよびフィルバルブ

概要

キット番号

12700096、12700096A

モデル

このキットは全モデルに適合します。フィルバルブは、クイックカプラーの付いているコンプレッサーにのみ接続してください。

ガソリンスタンドにあるようなトリガーバルブ付きコンプレッサーを使用する場合は、そのバルブを使って圧力を調整してください。このゲージでは圧力を確認するだけにしてください。

キット内容

このキットは、タイヤ空気圧ゲージとその指示書で構成されます。このキットには交換用パーツは含まれていません。

▲警告

タイヤの空気圧とバランスが適切に維持されていること、損傷がないこと、トレッドの深さが適切であることを確認してください。タイヤを定期的に点検し、異常が認められる場合はハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店に交換を依頼します。極端に摩耗した状態、バランスが取れていない状態、空気圧が不足した状態、過積載の状態、またはパンクや切れ目などの損傷がある状態だと、走行安定性やハンドリングに悪影響を及ぼし、死亡事故または重大な人身事故を引き起こすおそれがあります。(00014b)

動作

タイヤ空気圧の確認

注記

適正なタイヤ空気圧についてはオーナーズマニュアルを参照してください。

1. タイヤのバルブシステムキャップを取り外します。
2. 「図1」を参照してください。圧力ゲージのチャック(1)のエンドポート(2)をバルブシステムにはめます。
3. ゲージ(5)に表示されたタイヤ空気圧をメモします。ゲージの値が13.8 kPa (2 psi)を超えている場合は、「タイヤ空気圧の調整」を参照してください。値が表示されない場合、または値が13.8 kPa (2 psi)を下回っている場合は、「空気の抜けたタイヤに空気を入れる」を参照してください。

タイヤ空気圧の調整

注記

タイヤ空気圧が規定値になるよう調整します。オーナーズマニュアルを参照してください。

1. バルブノズル(6)をコンプレッサーに接続します。コンプレッサーをオンにします。
2. 圧力ゲージのチャック(1)をバルブシステムにはめます。ゲージ(5)に表示されたタイヤ空気圧をメモします。トリガーをいっぱいまで握ると、タイヤに空気が入ります。トリガーを半分だけ握ると、タイヤから空気が抜けます。
3. タイヤ空気圧が規定値になったら、チャックをバルブシステムから外します。キャップを元どおりにはめます。コンプレッサーをオフにします。

空気の抜けたタイヤに空気を入れる

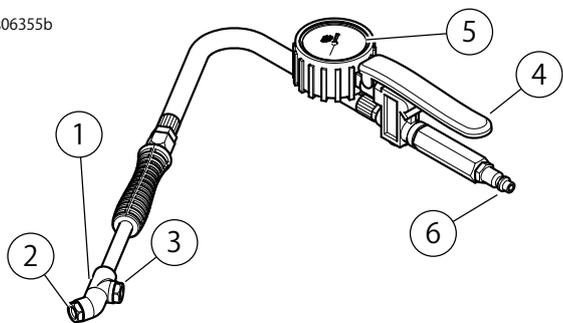
注記

このゲージは、13.8 kPa (2 psi) よりも空気圧の低いタイヤでは正しく動作しません。

空気が完全に(あるいはそれに近い状態まで)抜けたタイヤに空気を入れる場合は次のようにします。

1. バルブノズル(6)をコンプレッサーに接続します。コンプレッサーをオンにします。
2. トリガー(4)をいっぱいまで握ります。空気がエンドポート(2)またはサイドポート(3)から抜けているかどうか確認します。トリガーを放します。次のいずれかの作業を行います。
 - a. そのポートを使ってタイヤに空気を入れる。
 - b. 反対側のポートへ通じる気道が内蔵ボールによって開くよう、圧力ゲージのチャック(1)を傾ける。
 - c. トリガー(4)をいっぱいまで握ると、所望のポートから空気が流れ始めます。トリガーを放します。圧力ゲージポートをタイヤのバルブシステムにはめます。トリガーをいっぱいまで握ってタイヤに空気を入れます。
3. タイヤ空気圧が規定値になったら、チャックをバルブシステムから外します。キャップを元どおりにはめます。コンプレッサーをオフにします。

is06355b



1. チャック
2. エンドポート
3. サイドポート
4. トリガー
5. ゲージ
6. バルブノズル

図1。アナログ式タイヤ空気圧ゲージおよびフィルバルブ